

X-7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌

1 概要

メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症である。CREは高度な耐性を有し治療が困難であること、感染者が増え世界的な広がりを見せていることなどから大きな問題となっている。2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」が5類全数報告疾患に指定され、該当患者と診断した場合には保健所への届出が義務付けられた。

主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こす。健常者に感染症を起こすこともある。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症、カテーテル関連血流感染症、敗血症、髄膜炎その他多様な感染症を起こす。ただし、無症状で腸管等に保菌されることも多い。

2 感染経路

接触感染：菌が付着した手指などで感染者から他へ感染させる。院内では医療従事者の手指や医療器具を介して感染する経路が最も重要である。

3 院内感染対策

VRSAの感染対策に準じて行う。

4 患者、家族への説明

VRSAに準じて行う。

5 メタロβラクタマーゼ産生菌消失（解除）判定基準

VRSAに準じて行う。